

令和2年度市民意識調査の結果の公表

裾野市に「住み続けたい」は72.2%



市民意識調査は、市民の皆さんの意識を市政運営に反映させるため、毎年実施しています。調査結果は、政策立案の基礎資料として活用します。

☎みらい政策課
995-1804

調査概要

調査地域／市全域

対象／無作為に抽出した20歳以上の市民

1,000人

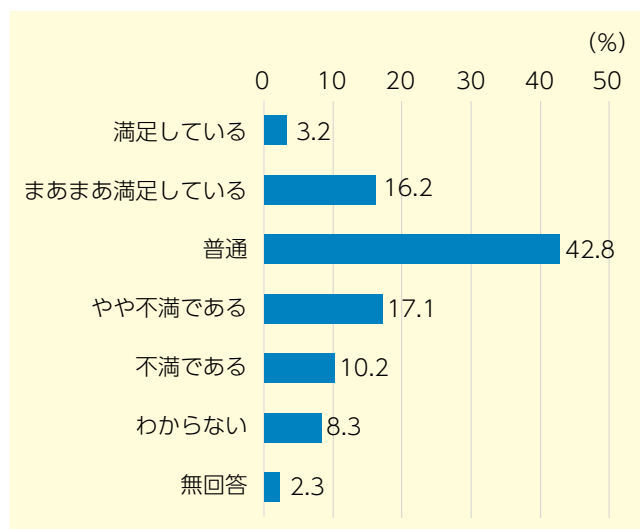
期間／7月3日(金)～20日(月)

調査方法／郵送配布、郵送回答またはWeb回答

回収状況／568票（回答率56.8%）

調査結果（抜粋）

市の政策全体に対する満足度



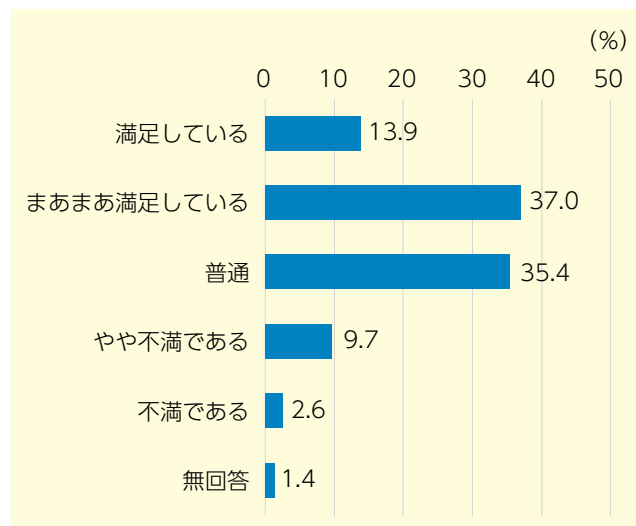
「満足している」と「まあまあ満足している」を合計した“満足”の割合は19.4%、「普通」の割合は42.8%、「やや不満である」と「不満である」を合計した“不満”の割合は27.3%となりました。

市が行っている取組や生活環境に対する満足度と重要度との点数差が大きい上位5項目

順位	項目	点数差
1位	市街地・駅周辺部での快適な暮らし	－1.56
1位	幹線道路や生活道路の整備	－1.56
1位	バス路線や便数	－1.56
4位	買い物がしやすい環境	－1.51
5位	地震・水害などへの防災対策	－1.38

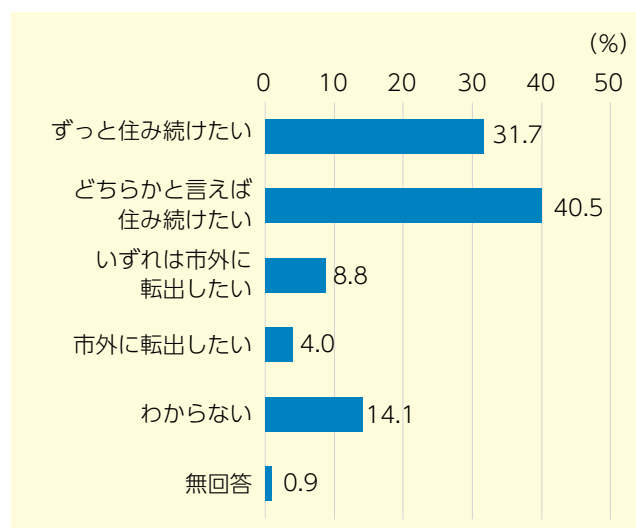
※点数差＝（満足度－重要度）。満足度が低く、重要度が高い、今後の課題として検討すべき項目を数値化したもの。

生活の満足度



「満足している」と「まあまあ満足している」を合計した“満足”の割合は50.9%、「普通」の割合は35.4%、「やや不満である」と「不満である」を合計した“不満”の割合は12.3%となりました。

市での定住意向



「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合計した“住み続けたい”の割合は72.2%、「いずれは市外に転出したい」と「市外に転出したい」を合計した“転出したい”の割合は12.8%となりました。

詳細は市公式ウェブサイトに掲載します。